

喉摘者の皆様へ

悠声会

我々、喉頭がん、下咽頭がん等により喉頭を摘出した者は呼吸を首の付け根にある永久気管孔で行っています、緊急時、人工呼吸を受けることになっても即座に喉摘者と気が付き適切に処置できる救急隊員や医療関係者も少ないと思われ、悠声会の会員も体調不良で救急車を呼び搬送される途中、人工呼吸の酸素マスクを口に当てられ、同乗していた奥様があわてて説明し事なきを得たという事です。

このたび、もしもの時に携帯していて第三者に喉摘者と気が付いていただける写真の様な名刺サイズの喉頭摘出者用救急カードをアトスメディカル名優(株)のご厚意で作製していただきました、ご希望の方は、アトスメディカル名優株式会社までお問い合わせください、無償で送付していただけるそうです。

救急カード 喉頭を摘出しているため、声が出ません。鼻や口からではなく
のど元にある気管孔から呼吸をしています
気管孔やその周囲に水をかけないでください

気管孔にカセット(下図)が取り付けられている場合、加湿・加温のための装着ですので、救急対応時は手で取り外してください

救急外来の先生へ 小型ETチューブ(サイズ5または6)を使用して、プロテーゼが外れないように慎重に挿管してください。

ATOS MEDICAL
アトスメディカル名優(株)
MCI216-TJP - 201401

氏名

生年月日 年 月 日 血液型

連絡先 住所

電話番号

病院・担当医師

私は声を出すことができません。代わりに電話をかけてもらえますか？

アトスメディカル名優(株)

電話 0120-937-432 (フリーダイヤル)

FAX 03-5540-0890

Eメール info.jp@atosmedical.com